

「くじに当たったヨナタン」

2025.12.3

聖書に学ぶ 29

I サムエル記 14:24～52

主イエスは「誓ってはならない」(マタイ 5:33) と言われます。

サウル王は「夕方、私が敵に復讐するまで、食物を食べる者は呪われる」と民に誓わせました。戦果を上げるためのサウルの誓いですが、ペリシテ軍を壊滅状態に陥らせたヨナタンの命を危うくしました。彼の将来を変える出来事になったのかもしれませんが。

今日の学びの要点

全能の神は、どのような者が発した言葉でも全て聞いておられます。自分の言葉に注意しましょう。また自分の強い思いに捕らわれて、人を動かすのではなく、主に一切を明け渡し、神の御心にゆだねる者になり、主に喜ばれる者になりましょう。

I、蜜を口にしたヨナタン

(I サムエル記 14:24～30)

1、敵が混乱をし始めた頃、サウル王は出陣しました。王はその時、兵にどうして誓いを立てさせたのでしょうか。(I サムエル記 14:24)

- ・ 食べることの時間を敵と戦う事に使う。
- ・ 貪欲で食べ過ぎてしまい、戦いに出て行かない者が出る心配もある。

2、先に戦っていたヨナタンは知りませんでした。彼はどうだったのでしょうか。(I サムエル記 14:27)

3、サウルとヨナタンの見解の違いはどこからくるのでしょうか。

①サウルが第一に思っていることは、何でしょうか。

サウル：「夕方、私が敵に復讐するまで、食べ物を食べる者はのろわれよ」

(I サムエル記 14:24)

②ヨナタンが第一に思っていることは、何でしょうか。

ヨナタン：「兵たちが、敵の食べ物を食べていたら、今頃はもっと・・・」

(I サムエル記 14:30)

Ⅱ、くじに当たったヨナタン (Iサムエル記 14:31~46)

1、サウルは1つの祭壇を築きました。どうして祭壇を築くことになったのでしょうか。(Iサムエル記 14:31~35)

2、祭司の勧めで、神様のみこころを伺っても、応えられなかったとき、サウル王はどうしましたか。(Iサムエル記 14:36~42)

①神が応えられない理由をどういう方法で知ろうとしましたか。
(Iサムエル記 14:41)

②くじに当たったヨナタンはどうなったのでしょうか。(Iサムエル記 14:43~44)

3、マタイ 5:33~37、ヤコブ 5:12 を読みましょう。

主イエスは誓う事について、何と言っておられますか。

V37:だから、「はい、そうします」か、「いいえ、そうしません」とだけ言いなさい。それで十分です。

誓いを立てることで約束を信じてもらおうとするのは、悪いことです。(リビングバイブルより)

①約束と誓いの違いは何でしょうか。

- ・約束…相手と取り決めをし、それを守ることを約束する
日常に頻繁に使われる。
- ・誓い…神様や社会、人々の前で、自分の決意を必ず守ると宣言すること
より厳粛で重い意味を持つ。神様や自分自身を証人とする。

②決して誓ってはならない：神様を勝手に持ち出して、利用している。

③誓わせることで、自分の強い願いを相手に強要し、相手を縛る事になる。